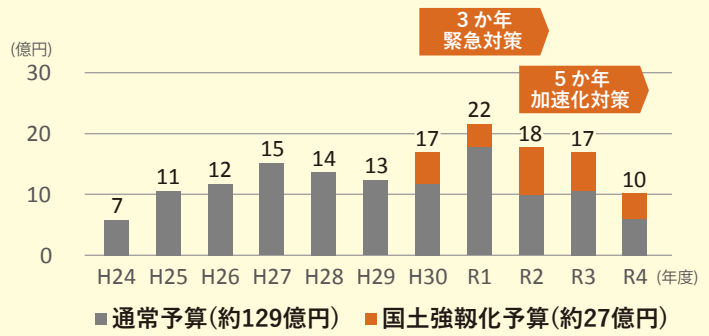


津松阪港海岸直轄海岸保全施設整備事業

昭和28年台風13号や昭和34年伊勢湾台風を契機に造られた津松阪港海岸は、築造後50年以上が経過し老朽化が進行していました。また、高い確率で発生が予測されている南海トラフ巨大地震に備え、海岸保全施設の耐震化も必要となっていました。

そこで、地域の貴重な生命・財産を守るための対策として海岸堤防の改良工事が始まりました。近年は国土強靱化予算も追加され、令和5年度の完成に向け整備が進められています。

平成24年度～令和4年度の事業費(約156億円)



R2～5年度(予定)

栗真工区

長さ 1,165m
事業費 19億円
(見込み)



H24～R3年度

栗真町屋工区

長さ 2,062m
事業費 63億円



H15～23年度

賛崎工区

長さ 2,158m
事業費 43億円



H26～R5年度(予定)

阿漕浦・御殿場工区

長さ 3,485m
事業費 78億円
(見込み)



H5～22年度

香良洲地区

長さ 2,350m
事業費 71億円



下流部 (平成27年度～)

堤防整備、河道掘削、樹木伐採などがおおむね完了しています。



雲出古川の堤防整備

→ 川の流れ

大臣管理区間(国土交通省が管理する河川)

地図：2017 三重県共有デジタル地図(写真地図データ成果) 三重県市町総合事務組合